

住んでよかった・・・

ゆったりやすらぎの田園都市・綾部



綾 部 市



平和の塔から臨む市街地

## ○市の概要

綾部市は、京都府の中央北寄り、福知山盆地の東端に位置する田園都市です。市街地を一級河川の由良川が貫流し、JR山陰本線と舞鶴線、舞鶴若狭自動車道と京都縦貫自動車道の接続地点であることから日本海地域と京阪神地域を結ぶ交通の要衝地となっています。

田舎暮らしやスローライフへの志向の高まりを受け、私たちは過疎高齢化で存続が危ぶまれる集落を「水源の里」と名付け、その美しい地域を支え合い、活性化していくことが、人の生命維持に欠かせない水と空気の供給地、また、環境・国土保全の最前線を守るためにも必要であることを全国に発信し続けています。

また、平成23年度からスタートした第5次綾部市総合計画では、綾部市の将来都市像を「住んでよかった…ゆったりやすらぎの田園都市・綾部」とし、美しく豊かな里山・田園の「ゆったり感・やすらぎ感」、平和と歴史・文化に彩られた市街地の「躍動感・充足感」などを享受できるまちを目指しています。

## ○国保の概要

綾部市の近年の人口推移をみると、5年間で約1,600人減少し、平成23年度末で36,482人となっています。一方で高齢化率は32.8%と国や京都府と比較して高く推移しています。

国民健康保険への加入状況は、平成23年度末で6,078世帯、被保険者数は10,295人で、加入率は世帯で39.21%、被保険者数では28.22%となっており、いずれも減少をしています。

<国保被保険者の動向> (年度末数値 単位：世帯、人、%)

年度	世帯数	人口	加入世帯数	加入率	被保険者数	加入率
20	15,431	37,841	6,406	41.51	10,589	27.98
21	15,484	37,418	6,241	40.31	10,683	28.55
22	15,515	37,024	6,227	40.14	10,620	28.68
23	15,503	36,482	6,078	39.21	10,295	28.22



あやべふれあいウォーキング

次に、平成23年度の医療費の状況を見ると、一人当たりの医療費は、一般・退職を含めた全体分で、平成22年度292,057円に対し、平成23年度305,540円と13,483円増加しています。高齢化率を勘案すると、今後ますます高齢者の医療費は増大するものと思われます。

一人当たり医療費 (単位：円)

年度	一般	退職	全体
20	270,333	313,879	275,548
21	275,784	253,175	273,595
22	293,705	277,099	292,057
23	305,934	302,263	305,540

一人当たりの保険料調定額は、一般・退職を含めた全体分で、平成22年度で64,2

55円に対して、平成23年度は一人当たり保険料を15%引き上げたため、75,232円と前年度に比べ10,977円増となっています。

保険料の収納率は、平成23年度については現年度全体分で94.71%、前年度に対して0.27ポイントのアップとなっています。

一人当たりの保険料額（現年分）（単位：円）

年度	全体	収納率（%）
20	56,944	94.73
21	56,948	94.72
22	64,255	94.44
23	75,232	94.71



光明寺二王門（国宝）

## ○国保の事業運営

綾部市国保を安定的に運営するために、次の事業を行っています。

### 1 適用適正化対策の推進

国民健康保険団体連合会から送付される年金受給者一覧表等を活用した退職振替の推進、社会保険の扶養者認定の勧奨や居所不明加入者の取り扱いなどの適用適正化を行うとともに、ホームページや広報紙等を活用し、国保の加入、脱退の早期届出の周知を図っています。

### 2 保険料の適正賦課・徴収対策の推進

所得未申告者に所得申告の勧奨を行い、被保険者間での公平性が保てるように努めています。また、あらゆる機会を活用し、口座振替の推進を図っています。

滞納分については、平成24年度から「京都地方税機構」に移管し、連携をすることにより、収納率の向上を図っています。

### 3 医療費適正化対策の推進

#### (1) 医療費の適正化

専任嘱託員による第三者行為求償事務、資格点検や国民健康保険団体連合会に

よる２次点検により、レセプト点検の推進を図り、医療費の適正化を図っています。

(2) 保健事業

・ 特定健康診断、特定保健指導

４０歳以上７５歳未満の被保険者を対象に特定健康診断を実施しています。個別健診は、４月から翌年３月まで１２医療機関（１医療機関は１２月まで）で、また集団健診は、６月から１２月まで２０回実施しています。

嘱託職員による受診勧奨、保健師による地区訪問勧奨、無料クーポン券の交付などの受診勧奨や実施方法の見直しをしながら特定健康診断を実施していますが、受診率は伸び悩んでいます。

特定健診実績（法定報告より）

（単位：人 %）

年 度	対象者	受診者	受診率
20	7,412	1,493	20.1
21	7,484	1,615	21.6
22	7,502	1,698	22.6

特定保健指導実施結果

（単位：人 %）

年 度		対象者	受診者	受診率
20	動機付け支援	213	71	33.3
	積極的支援	80	14	17.5
21	動機付け支援	186	39	21.0
	積極的支援	58	12	20.7
22	動機付け支援	191	30	15.7
	積極的支援	52	10	19.2



特定健診受診キャンペーン中の「あやちゃん」

- ・人間ドック総合健康診断補助事業

国保加入者が行う人間ドック総合健康診断について、8割を助成しています。  
また、昨年から取扱医療機関を2医療機関に拡大し実施しています。

人間ドック総合健康診断補助実績 (単位：人)

	20年度	21年度	22年度	23年度
受診者数	395	393	411	364

- ・あやべ健康プラザ利用者入会金等補助事業

国保加入者の健康保持増進を図るため、あやべ健康プラザの入会金又は会費  
1か月分を助成しています。

あやべ健康プラザ入会金等補助実績 (単位：人)

	20年度	21年度	22年度	23年度
入会金	35	31	19	36
会費	171	153	145	134



骨密度測定